

■源氏物語講座

北方の死と邸宅の焼失による宇治への転居 ～八宮と二人の姫君～

日 時:8月1日(土) 13:30～15:00

講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)

会 場:研修室1・2

薫と八宮との親交 ～宇治に通って仏道の教えを受ける～

日 時:9月26日(土) 13:30～15:00

講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)

会 場:研修室1・2

■歴史講座

宇和島鉄道の誕生 ～予土線の歴史を振り返る～

日 時:9月13日(日) 13:30～15:00

講 師:平井 誠(当館学芸員)

会 場:研修室1・2

■考古講座

近代における砥部焼の発展

日 時:8月2日(日) 13:30～15:00

講 師:榎林 啓介氏(愛媛大学社会共創学部准教授)

会 場:多目的ホール

■民俗講座

民俗学者・宮本常一がみた南予の風景

日 時:9月27日(日) 13:30～15:00

講 師:高木 泰伸氏(新居浜工業高等専門学校非常勤講師)

会 場:多目的ホール



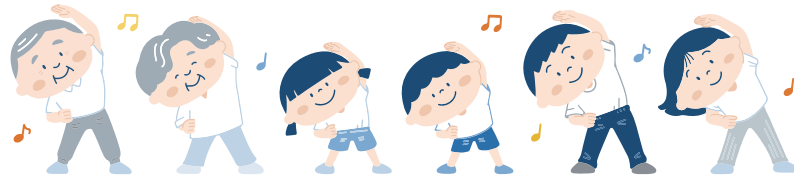
受講時のお願い ▶ 講座の写真撮影、録画・録音はご遠慮ください。

申込方法 ▶ 当館HPの講座申込フォーム・お電話からお申し込みください。

お問い合わせ ▶ 企画普及グループ・歴史文化講座係 TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

夏休み期間の開館について

7月20日(月)～8月31日(月)は
休まずに開館します。



展示スケジュール

2026.7-2027.3

2026 7	特別展 日本上陸60周年記念 ガチャガチャ展 2026年7月18日(土)～2026年8月31日(月)
8	
9	
10	特別展 伊予松山城 ―城郭・御殿・城下町― 2026年9月19日(土)～2026年11月23日(月・祝)
11	
12	
2027 1	
2	特別展 江戸時代 四国遍路の旅 ―「遍路日記」の世界―
3	2027年2月20日(土)～2027年4月5日(月)

常設展
えひめの歴史と文化
新常設展
密・空と海―内海清美展

ご利用案内

■開館時間 9:00～17:30(入館は17:00まで)

■休 館 日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)

■観 覧 料

	常設展(常設展+内海清美展)		新常設展(内海清美展)	
	一 般	団 体	一 般	団 体
大人(高校生以上)	700円	580円	340円	280円
小・中学生	無 料	無 料	無 料	無 料
65歳以上	400円	330円	200円	170円

※特別展の観覧料はその都度定めます。※団体は20名以上です。

※未就学児は無料です。

※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2026.7-9 イベント 休館日 臨時休館日

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
													1							
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30			23/30	24/31	25	26	27	28	29	27	28	29	30			



愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよてつ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-622-6222

【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 令和8年6月30日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

愛媛県歴史文化博物館

No.126

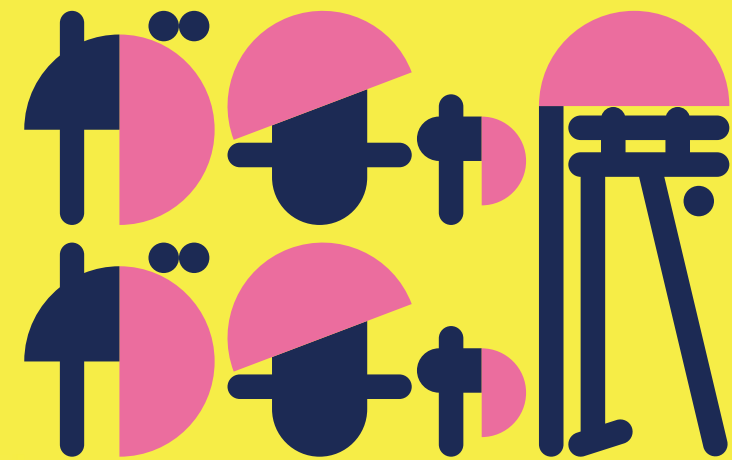
歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News

もはや、ガチャガチャは日本の文化です。
Gachagacha has become a part of Japanese culture.



日本上陸60周年記念



GACHA GACHA EXHIBITION

2026年7月18日(土)→8月31日(月)

愛媛県歴史文化博物館

開館時間:9:00～17:30(入館は17:00まで)

観覧料:大人(高校生以上)1,200円(900円)

65歳以上900円(700円)小中学生700円(600円)

※未就学児無料、()は20名以上の団体料金、

特別展観覧券で常設展・新常設展もご覧いただけます。

主催:愛媛県歴史文化博物館・特別協力:日本ガチャガチャ協会・ガチャガチャ展実行委員会
後援:愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいや

歴史

航空機の時刻表



松山空港における戦後初の路線として、昭和31(1956)年に極東航空(現全日空)が大阪―松山を開設、同36年に大分・熊本まで延長しました。また、同年に東亜航空(東亜国内航空、日本エアシステムを経て現日本航空)が松山―広島を、翌年に全日空が東京―高松―松山を開設するなど、以後様々な路線が開廃されました。

昭和39年5月の全日空時刻表によると、松山―大阪4往復(3,700円、以下括弧内はいずれも片道料金)、松山―高松―東京1往復(松山―高松2,200円、松山―東京9,700円)、昭和41年6月の東亜航空時刻表によると、広島―松山3往復(2,200円)、広島―松山―高知(松山―高知3,600円)、松山―大分(3,400円)、松山―福岡(4,800円)各1往復となっています。当時は近距離路線も多く、松山―広島20分、

松山―大分35分、松山―高知40分の短いフライトでした。

昭和50年8月には全日空が松山―大阪6往復(6,700円)、松山―名古屋1往復(10,700円)、松山―東京2往復(16,500円)、松山―沖縄週5日1往復(20,000円)、東亜国内航空が松山―福岡2往復(7,700円)、岡山―松山―宮崎1往復(岡山―松山5,900円、松山―宮崎7,100円)を飛行しています。松山―沖縄は国際海洋博覧会にあわせた期間限定便でした。

航空機の時刻表をたどると、どの都市とどの都市に需要があったのか、あるいは需要があると見込まれたのか、時々の都市間交流や運賃の変動などを知ることができます。

(専門学芸員 平井 誠)

※本資料はテーマ展「昭和100年 昭和の風景を振り返る」で展示予定です。

年代: 昭和39～50(1964～75)年
所蔵: 当館蔵

民俗

百鬼夜行絵巻

図版の右側に布団をかぶった妖怪がいます。何がモチーフになっているのでしょうか。頭にしゃもじのようなものを乗せ、紫色の櫃に寄りかかる様な姿で描かれています。実はこの妖怪のモチーフは炬燵です。他にも臼と杵やたらいなど、生活に欠かせない道具などが妖怪になっています。これらの妖怪は「付喪神」と呼ばれ、長い間、使われてきた古器物に魂が宿ったものとされています。



百鬼夜行絵巻は本資料以外にも全国で約60点以上の諸本があり、その源流は京都の大徳寺塔頭である真珠院所蔵の絵巻(室町時代、伝土佐光信筆、重要文化財)とされています。本資料の構成や妖怪の図様も真珠庵本に類似しており、真珠庵本の影響力の強さがうかがえるほか、真珠庵本が33cm×700cmであるのに対して、本資料が3m以上も長い点も注目されます。ただこの絵巻には作者や詳細な製作年代などの詞書は記されていないことや、安永5(1776)年に出版された妖怪図鑑ともいえる鳥山石燕の『画図百鬼夜行』にも掲載されていない妖怪もいて、モチーフが分からないものも描かれています。

本資料は当館HPの「絵図・絵巻デジタルアーカイブ」ではデジタル画像で全場面を公開しています。暑い夏を恐ろしくもどこかかわいらしい妖怪たちをみて、少し涼しくなってみてはいかがでしょうか。

(学芸員 横井 蒼大)

年代: 江戸時代後期写
法量: 36.5cm×1075.0cm
所蔵: 当館蔵

2026年7月18日(土)～8月31日(月)

テーマ展

昭和100年 昭和の風景を振り返る



今年は昭和元(1926)年から数えて満100年を迎えます。昭和は不況と戦争、復興と高度経済成長、オイルショックとバブル景気など、激動と変革、苦難と復興の時代でした。本展では戦時下の子どもたちや暮らし、懐かしい街並みや交通の発達、家電の普及やおもちゃの移り変わりなど、身近な視点から昭和の風景を振り返ります。

●会場: 考古展示室 ●常設展観覧料が必要です



▲家電製品の普及(昭和30～40年代/当館蔵) ▲道後動物園(昭和55年/村上節太郎氏撮影・当館蔵)



▲消火訓練(戦時中/当館蔵)

テーマ展

昭和の子育て

子どもを授かること。
子どもが無事に生まれること。
子どもが病気やケガをせずにすくすく育つこと。
いずれも「あたりまえ」のようで「あたりまえ」ではありません。命がけの出産、地域ぐるみでの子育てには、様々な知恵や経験が活かされてきました。本展では、昭和時代を中心に、妊娠、出産、子育て関連資料を展示し家族の営み、地域のつながりを紹介します。今に生きる私たちが昔の子育てを知ることで、「子育てとはこうあるべき」という考えから少し離れて、肩の力をちょっと抜いた「子育て」に向き合うことができるかもしれません。子育て真っ最中のお父さん、お母さんだけではなく、かつて子どもだったあなたにもぜひ体感していただきたい展示です。

●会場: 文書展示室 ●常設展観覧料が必要です



赤ちゃんの沐浴写真(年代不明/当館蔵)

日本上野60周年記念



トークイベント

アイデアをカタチにする! ガチャガチャを作るお仕事



●ゲスト: 日本ガチャガチャ協会 会長 小野尾 勝彦氏
ブライトリック 代表取締役 佐藤 明香里氏
クリエイティブディレクター 富田 真緒氏

●開催日時: 8月9日(日)
13:30～14:30

●場 所: 多目的ホール
●参加費: 無料 ※特別展観覧券が必要です



ガチャガチャ
マシンをつくらう!
7月22日(水)・29日(水)・
8月5日(水)・19日(水)・26日(水)
11:00～12:00
●参加費: 1,200円
●定 員: 各回15名
※事前予約制

ガチャガチャ
レジンストラップ
づくり♪
7月29日(水)・8月19日(水)
①11:00～12:00
②14:00～15:00
●参加費: 900円
●定 員: 各回15名

GACHA★
SHAKA★
キーホルダー
7月18日(土)～8月31日(月)の
土日祝・8月13日(木)・14日(金)
①10:00～11:30
②13:00～15:30
●参加費: 350円
※友の会会員は300円

ガチャ
詰めポーチ
7月18日(土)～8月31日(月)の
土日祝・8月13日(木)・14日(金)
①10:00～11:30
②13:00～15:30
●参加費: 600円
※友の会会員は550円